

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成30年度 第2回河内長野市生活安全推進協議会
2 開催日時	平成30年11月6日(火) 午後1時30分から 午後2時50分まで
3 開催場所	市役所7階 行政委員会室
4 会議の概要	1. 委嘱状交付 2. 会長及び副会長選任 3. 案件 ① 本年の河内長野市犯罪発生状況について ② 第13回安全・安心まちづくり市民大会について ③ その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 危機管理課 (内線 774)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

平成30年度 第2回河内長野市生活安全推進協議会 次第

日 時 平成30年11月6日(火)

午後1時30分から

場 所 河内長野市役所7階 行政委員会室

1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 委嘱状交付

4. 会長及び副会長選任

5. 案 件

① 本年の河内長野市犯罪発生状況について

② 第13回安全・安心まちづくり市民大会について

③ その他

大阪北部地震及び台風第21号の市内被害状況等について

6. 閉 会

平成30年度 第2回河内長野市生活安全推進協議会 議事録

日 時 平成30年11月6日(火)
午後13時30分から14時50分
場 所 河内長野市役所7階 行政委員会室

1. 開会・市長挨拶

今回は、新たに委員にご就任くださる方、継続して委員に就任くださる方には、何かとお世話をお掛けしますが、よろしくお願い申し上げます。本市は、昨年一年間の人口10万人あたりの犯罪発生率が、大阪府内33市の中で1番低い、最も安全・安心のまちとなりました。これもひとえに、警察を始め、地域で自主的な防犯活動を展開されている皆様の取り組みの賜物と心から感謝申し上げますとともに、今後とも安全・安心のまちづくりにお力添えいただくようお願い申し上げます。

2. 委嘱状交付

島田市長より、出席委員15名に委嘱状を、1名に辞令を交付した。
任期は、平成32年9月30日まで。

3. 会長及び副会長選任

委員互選により、以下のとおり選任された。

会 長 島田委員(河内長野市長)
副会長 高野委員(河内長野警察署長)
副会長 上奥委員(河内長野防犯協議会会長)

4. 案 件

①本年の河内長野市犯罪発生状況について(河内長野警察署生活安全課 清水課長)

今年に入ってから犯罪発生状況について、今年の1月～9月と前年の同期間の犯罪発生状況を比較すると、大阪府全体では72,329件で、昨年比マイナス8,981件。河内長野市では372件で前年比マイナス62件となっており、ともに減少傾向となっています。重点犯罪の中では、強制わいせつが10件で前年比プラス2、自動車盗が7件で前年比プラス2、特殊詐欺が6件でプラスマイナス0となっています。その他、侵入窃盗は12件と少し増えているが、他の犯罪はすべてマイナスという状況です。

犯罪発生率については、9月現在で、河内長野市は府内33市のなかで1番少ない市

という位置を保っているが、2位の交野市が僅差で迫っています。今年残りの3か月、犯罪を抑え込んでいきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。

→ 質疑応答

(委員) 犯罪認知件数の中では、薬物に関する犯罪について掲載されていないが、市内で薬物関連の犯罪はありますか？

(清水課長) 犯罪発生も検挙もありますが、ここには載ってこないです。

(委員) 侵入が12件と増えているが、抑える方法はないのでしょうか？

(清水課長) 夜間警戒やレッド走行などで十分注意しているのですが、月1件ペースで増えているという状況です。

(委員) 夜間の侵入が多いのでしょうか？

(清水課長) 夜間の侵入が多いです。ただ、人が住んでいない空き家も対象となっていますので、長期間家の灯りがついていないとか、そういった場合にも注意が必要です。

(委員) 空き家に盗まれるようなものが置いてあるのですか？

(清水課長) ほとんどありません。だから、侵入しようとしても結局何もないということ、未遂となるケースもあります。

(委員) 特殊詐欺の被害金額はどうなっていますか？

(清水課長) これは、昨年よりも増えていて、6件で2,580万円の被害となっています。金額ベースでは、すでに昨年を超えています。

(委員) 平均400万円を超えていますね。

(高野副会長) 河内長野市にはお金の受け渡しにはこないで、東京や大阪市内におびき寄せてお金を取りに来ることが多いです。ただ、これは既遂として6件ですが、未遂は100件以上あります。銀行などから通報があつて発覚し、未然に防いでいるわけですが、防げなかった場合には、被害は2,580万円どころではなくもっと増えるところでした。普段の皆様の協力があり難いです。

(委員) 特殊詐欺については、ニュースなどでかなり取り上げられているが、それでも騙されるものなののでしょうか？

(高野副会長) 実際に騙された人に聞くと、特殊詐欺の存在は知っていましたという答えが必ず返ってきます。しかし、警察から、これは詐欺だといくら説明しても、いや息子からの電話だったんだと言って、警察を信じてくれないケースすらあります。

(委員) やはり、一番先に確認することが大事だと。

(高野副会長) 警察としても、様々なキャンペーンなどで、まず伝えたいのは、必ず確かめてくださいということ。それで、未然に防ぐことができた事例もあります。

(委員) 被害に遭われた方は、自分の息子だと信じきっている。自分が息子の声を聴き間違えるわけがないとも思っている。そうなると、騙されてしまうんですね。

(委員) 自分は大丈夫だと思っている人のほうが騙されやすい。

(委員) 聞いた話ですが、詐欺の電話がかかってきて、未然に防ぐことができたことまでは良かったんですが、その後、本当の息子から電話がかかってきても、本当に自分の息子か?と疑い深くなった人がいるらしいです。それはそれで困ったもので、難しいですね。

(島田会長) 本市の犯罪発生率は、府内33市の中で少ない方から平成25年は1位、平成26年は3位、平成27年は1位、平成28年は2位、平成29年も1位と、安全・安心なまちであり、子育て世代には売りになると思いますので、今年も犯罪発生率最少1位を維持したいと考えています。皆様のご協力をお願いいたします。

②第13回安全・安心まちづくり市民大会について 社会福祉協議会 土橋課長

- ・開催日時 平成30年11月25日(日) 午前10時～12時
- ・場所 市民交流センター(キックス)4階イベントホール
- ・主催 河内長野市生活安全推進協議会
- ・テーマ みんなで創ろうささえあいで安心のまち
- ・講演 公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力 氏
資料内容を説明

→特に質疑はなく、了承された。

③その他

ア. 大阪北部地震と台風第21号による被害の状況等について

星野委員から、大阪北部地震における本市の対応や被災地への支援状況と、台風第21号による市内の被害状況・復旧状況について説明を行った。

→ 質疑応答

(委員) ボランティアの数が述べ93名ということですが、防災訓練とかに参加されている方だったのか、それとも市外の方が来てくれたのですか?

(土橋課長) 市内の方も、市外の方もおられます。

(委員) 市内在住で、ボランティアをしたいと希望している人が、今回の災害ボランティアについて知らなかったということを知ったことがあるのですが、ボランティアの募集はどのようにしていたのでしょうか？

(土橋課長) 既にボランティア登録していただいている人には、直接案内をしました。また、社会福祉協議会のホームページやフェイスブックで情報を発信していました。

(久成委員) 補足すると、今回の災害では、家の屋根に登って作業を行う必要があったため、屋根の上での作業の経験のある人に登ってもらって、他の人は土のう作りなどの補助作業にあたってもらっていました。そういった事情から、ボランティアの人数は延べ93人と少なかったが、毎日来てくれていた人もいました。

(委員) わかりました。市内在住で、もっとボランティアに参加したいという人もいるので、案内の工夫などよろしくお願いします。

(久成委員) 去年の災害のときもそうだったが、今年も発信が弱かったという反省があります。今後、より多くの市民に参加していただけるようにして、安心・安全なまちづくりに貢献していきたいと思います。

(委員) 防災の面では、去年も今年も、地域防災総合訓練が台風の被害対応のため中止となった。行政の組織能力も職員も疲弊しているし、どうしていったらいいかというと、ボランティアにおいては、防災、防犯、福祉、人権などいろいろな分野で活躍しておられる人がいて、河内長野市には人的資源はあると思うのです。しかし、それを十分に活用できていない。これは行政の責任だと思いますので、これから危機管理課も安全安心の司令塔として頑張ってもらいたいです。財政状況が厳しくても、市として、地域で活動している人に何をしてもらうのか考えてもらうこと、それから、ここにおられる各分野の皆様にも、防災に対する認識を持っていただきたいと思います。

(島田会長) ご意見ありがとうございます。

イ. 意見交換

(委員) 三日市小学校の前の道路は、通学路なのに、車が多く通っていて信号もない。停止線はあっても、そこで止まる車はありません。ずっと以前から危ないと思って、いろいろと相談したが、改善されないままです。本当に危ないと思うので、ボタン信号を設置することができないのでしょうか？

(島田会長) 信号設置に関しては、警察の担当ですね？

(高野副会長) 大阪府に信号設置要綱があって、警察としても段取りが必要なのですが、先に土地の問題等が解消されないことには、信号が設置できないという箇所が、いくつもあります。

(上奥副会長) あそこは、道路そのものの土地が私有地で、上下水道も通っていないようなところなんです。だから、話が前に進んでいない。宅地開発したときに、業者と土地所有

者で合意ができなくて、権利関係の整理ができていない。本来なら開発したときに、きちんと話をつけておくべき話だったのに、それができないまま現在まで至って、非常に難しい問題となってしまった。

（委員）電柱はありますけど、ダメですかね？以前、道路課に相談した際には、かなり頑張ってくれて、坂を少し上に登ったところに設置してはどうかと代替案も出してくれました。しかし、そこで車がかちあって混雑してしまうとか、そこで事故が起きる可能性があるとか、いろいろと問題があって、うまくいかなかった。だから、せめてボタン信号を設置してほしい。なかなか難しい問題であることはわかっていますが、また一度見ておいてください。

（島田会長）わかりました。確認しておきます。

以上